

企画提案書評価項目表

企画提案書目次	記載依頼事項	評価基準	重要項目	加重点	配点	
1 全体概要						
1 基本的な考え方						
① 本業務の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹系業務システムの再編にあたり、次にあげる効果を得るためには、どのような点に留意し、どのような機能を備えどのように実現していくか、それぞれ記述すること。 【共通基盤】 ①マルチベンダー環境への対応 ②サーバ機器及び端末機器の統合（最適化） ③システム運用の統合（標準化） ④システム導入経費の節減 【基幹系業務】 ①事務効率の向上とランニングコスト削減 ②制度改正等への柔軟な対応 ③システム運用の統合（標準化） ④システム導入経費の節減 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書に記載している「1章1.2本市の方針・目的」を踏まえて、効果を得るための留意事項について適切に記述されているか。 ・本調達仕様書に記載している「1章1.2本市の方針・目的」を踏まえて、効果を得るための各課題の解決順序や手法等が考慮され、適切で具体的に記述されているか。 	○	4	40	
② スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・開発工程から運用保守工程まで本プロジェクト全体のスケジュールについて、現時点で記述可能なレベルで具体的な作業項目単位でのスケジュール案を記述すること。 ・クリティカルパスやマイルストーン等の進捗管理の上で重要となるポイントや時期について記述すること。 ・契約締結後の2か月程度について、本市との協議日程や協議テーマを一覧で記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書に記載している「1章1.4全体スケジュール」を踏まえて、実現性のあるスケジュールであるか及びクリティカルパスやマイルストーン等の進捗管理の上で重要となるポイントや時期が記載されているか。 	○	4	40	
③ システム開発体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本市指定様式「業務従事メンバー状況表（体制図）（様式第11号）」にしたがい、共通基盤及び基幹系業務システムの本稼働までの開発体制（活動チームごとの構成・担当者の配置状況について図示すること）、要員の役割を明示したうえで、その考え方、根拠等の説明を記述すること。再委託を予定している場合には、再委託についての考え方、再委託先との役割分担についても記述すること。 ・本市指定様式「業務従事メンバー状況表（従事メンバーの役割詳細）（様式第12号）」にしたがい、上記体制図に記載したメンバーの経歴（資格、経歴・実績、得意分野、経験年数）、専任/兼任の別を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書に記載している「1章1.5体制と役割」「6章開発要件」を踏まえて、システム開発のプロジェクト体制として、不十分又は過大な体制となっていないか。 	○	4	40	
④ 運用保守業務の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本市指定様式「業務従事メンバー状況表（体制図）（様式第11号）」にしたがい、共通基盤及び基幹系業務システムの本稼働以降の運用保守に携わる要員（資格、経歴・実績、得意分野、経験年数）及び体制について記述すること。 ・本市指定様式「業務従事メンバー状況表（従事メンバーの役割詳細）（様式第11号）」にしたがい、システム利用者全体に与える障害が発生した場合を例に挙げ、障害発生時の対応方針、対応体制について記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書の「1章1.5体制と役割」「7章運用保守要件」を理解し、不十分又は過大な体制となっていないか。 ・システム利用者全体に与える障害が発生した場合の対応が適切に行えるか。 		3	30	
2 企業実績						
① 開発・運用保守実績	<ul style="list-style-type: none"> ・本市指定様式「業務実績調書（様式第6号）」にしたがい、人口20万人以上の市において、本業務と類似するオープン系システムとして生活保護業務システムの開発実績（契約名、契約額、発注者、契約期間等）とその開発内容（主な機能と実現方法等）及び運用保守実績（契約名、契約額、発注者、契約期間等）について記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達書を理解し、人口20万人以上の市において履行した実績がどの程度あるか。 ・本調達仕様に類似した仕様の実績があるか。 	○	5	50	
全体概要に対する技術点					小計	200
2 機能要件						
1 基本的な考え方						
① 基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護業務の構築におけるパッケージシステムの概要、機能、特徴、適用範囲、適用方法及び推奨理由のすべてについて記述すること。 ・システムの全体像をイメージ図、アプリケーション構成図等を用いて記述し、本業務における開発内容や構築範囲を明確にすること。また、想定される課題、問題点がある場合には、提案システムでの解決方法・実現方法等を記述すること。 ・本調達仕様書にない機能の追加提案がある場合には、その内容についても記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書の「2章 機能要件」の仕様を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記載されているか。 	○	4	40	

企画提案書評価項目表

企画提案書目次	記載依頼事項	評価基準	重要項目	加重点	配点
4 生活保護					
① 電子決裁	<p>・電子決裁について、必要とされる機能を画面イメージ等の図解説明を付して具体的な実現方法、活用方法及び制限事項を分かりやすく記述すること。特に次の項目について詳細に記述すること。</p> <p>①全ての決裁をシステム上で完結させる手法 保護開始決定の決裁方法 保護廃止決定 保護費支給 医療扶助決定 介護扶助決定 等</p> <p>②本市で選択できる決裁ルート及びその変更、決定方法</p> <p>③紙による決裁が必要な事務の範囲</p>	<p>・本調達仕様書の内容を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記載されているか。</p>	○	5	50
② 発行履歴、提出物の管理	<p>・発行履歴、提出物の管理について、必要とされる機能を画面イメージ等の図解説明を付して具体的な実現方法、活用方法及び制限事項を分かりやすく記述すること。特に次の項目について詳細に記述すること。</p> <p>①システムから発行した文書の履歴の管理 ②新規開始時の申請書等、提出される文書の電子データとして保存・管理 ③管理できる文書の種類</p>	<p>・本調達仕様書の内容を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記載されているか。</p>	○	5	50
③ 文書管理の電子化（ペーパーレス化）	<p>・文書管理の電子化について、必要とされる機能を画面イメージ等の図解説明を付して具体的な実現方法、活用方法及び制限事項を分かりやすく記述すること。特に次の項目について詳細に記述すること。</p> <p>①訪問計画、訪問実績、訪問記録、査察指導簿等の全ての電子データの記録、管理 ②必要に応じて帳票への出力 ③電子データで管理できる範囲 ④紙対応が必要な範囲 ⑤保護者等からの任意の提出物（免許証のコピー等）の管理 ⑥医療機関から意見書等が電子データとして管理 ⑦電子化したデータを任意抽出できる範囲</p>	<p>・本調達仕様書の内容を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記載されているか。</p>	○	5	50
④ 他法情報連携	<p>・他方情報（各種手当、各種手帳、介護保険料、市営住宅家賃等）の連携及び自動反映について、必要とされる機能を画面イメージ等の図解説明を付して具体的な実現方法、活用方法及び制限事項を分かりやすく記述すること。（CSV等のデータによる受け渡し、庁内ネットワークを介した連携等）</p>	<p>・本調達仕様書の内容を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記載されているか。</p>	○	5	50
⑤ システムによる自動判定	<p>・システムによる自動判定（チェック）機能について、必要とされる機能を画面イメージ等の図解説明を付して具体的な実現方法、活用方法及び制限事項を分かりやすく記述すること。特に次の項目について詳細に記述すること。</p> <p>①各種手当、各種手帳等の資格管理（有効期間等）を判定 ②各種加算が適正につけられているか（要件を満たしているか）を判定 ③システムで自動判定が可能な項目</p>	<p>・本調達仕様書の内容を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記載されているか。</p>	○	5	50
⑥ 本人支払額の管理	<p>・本人支払額の管理について、必要とされる機能を画面イメージ等の図解説明を付して具体的な実現方法、活用方法及び制限事項を分かりやすく記述すること。特に次の項目について詳細に記述すること。</p> <p>①本人支払額の充当先を自動的に判定し、振り分けを行う ②本人支払額の充当先を自動的に判定した結果を必要に応じて支払額の変更を行う ③設定した本人支払額データの保持期間、管理方法。</p>	<p>・本調達仕様書の内容を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記載されているか。</p>	○	5	50
⑦ 医療・介護レセプトデータ取り込み	<p>・医療、介護のレセプトデータの連携、システムへの自動反映等について、必要とされる機能を画面イメージ等の図解説明を付して具体的な実現方法、活用方法及び制限事項を分かりやすく記述すること。（CSV等のデータによる受け渡し、庁内ネットワークを介した連携等）</p>	<p>・本調達仕様書の内容を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記載されているか。</p>	○	5	50
業務システムに対する技術点				小計	390

企画提案書評価項目表

企画提案書目次	記載依頼事項	評価基準	重要項目	加重点	配点
3 移行					
1 移行対応					
① 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・システム移行に係るデータ調査からデータセットアップ、システム切替の進め方及び課題とその解決策を業務単位に記述すること。 ・業務での不足項目に対する補正作業及び未登録文字の追加対応に関する考え方などを記述すること。 ・特に、本調達仕様書の「3章 移行要件」に記載した内容と異なる提案を行う場合には、その理由等について詳細に記述すること。 ・データ移行に関する制約事項があれば、その内容及び理由を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書の「3章 移行要件」の仕様を理解し、具体的な本システム再構築の移行に関する課題や制約事項を考慮した、進め方や課題解決策が提案されているか。 	○	5	50
② 役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・貴社と本市の役割分担を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担の提案が具体的で適切なものか。 	○	4	40
移行に対する技術点				小計	90
4 システム構成要件					
1 全体構成					
① 全体構成	<ul style="list-style-type: none"> ・共通基盤及び基幹系業務システムを構築するにあたり、サイジング及びサーバ仮想化技術の採用等、システム基盤構築の全体構成及び基本的な考え方、並びに構成根拠を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書の「4章システム構成要件」の仕様を理解し、共通基盤及び基幹系業務システム全体としてのトータルコストの削減に考慮した最適なシステム構成及び基本的な考え方が提案されているか。 		3	30
2 サーバ/ソフトウェア構成					
① ソフトウェア構成	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書に示す要件等を踏まえ、生活保護業務システム全体のシステム基盤構成に係る次の内容について、本市指定様式「ソフトウェア構成一覧表（様式第14号）」に従い提案すること。 ①「ソフトウェア構成一覧（様式第14号）」（インストールするサーバ単位に記載し、サーバ（ソフトウェアライセンス含む）との数量の関係を明確にし、各ソフトウェアの導入実績、選定理由等について記述すること） 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書の「4章4.2システム構成要件」を理解し、本番環境、保守環境、研修環境の考え方が整理され、過剰スペックとならない最適なハードウェア及びソフトウェア構成が適切な根拠を持って提案されているか。 ・性能、信頼性等の各方針に沿った提案がされているか。 		2	20
② 基幹系業務システムのサーバ構成	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書に示す要件等を踏まえ、基幹系業務システム統合サーバ内に構築する基幹系業務システムのサーバ構成（APサーバ、データベースサーバ等）に係る次の内容について、本市指定様式「基幹系業務システムサーバ構成一覧表（様式第16号）」に従い提案すること。 ・基幹系業務システム統合サーバ内に構築する業務サーバ単位（APサーバ、データベースサーバ等）に業務サーバの役割、OS、搭載するソフトウェア、割り当てるCPU（コア数）、割り当てるメモリ量、割り当てるディスク容量、RAID構成を記述すること。 ・提案する基幹系業務システムのサーバ構成の全体構成図を本市指定様式「システム構成図（様式第15号）」に従い提出すること。その際、基幹系業務システムの範囲を明示するとともに、各業務サーバ名称を付与し、企画提案書の中で名称の統一を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書の「4章4.2システム構成要件」を理解し、本番環境、保守環境、研修環境の考え方が整理され、過剰スペックとならない最適な業務サーバ構成が適切な根拠を持って提案されているか。 ・性能、信頼性等の各方針に沿った提案がされているか。 		3	30
3 システム処理方式					
① システム処理方式	<ul style="list-style-type: none"> ・業務要件から処理方式に関する課題等を明確にし、貴社の基本的な考え方・方針等について整理・記述すること。 ・貴社が開発を行う、またはパッケージで採用している処理方式ごとに処理の流れ、物理構成、使用するソフトウェア名称、開発範囲（パッケージ標準部分とカスタマイズ部分を明記すること）、当該処理方式を利用する事のメリット/デメリット、制限事項等についてイメージ図とともに明確に記述すること。 【提案が求められる処理方式】 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン処理方式 ・バッチ処理方式 ・印刷処理方式 ・大量帳票出力処理方式 ・他システム連携方式 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達仕様書の「4章4.3システム処理方式要件」を理解し、具体的な処理方式が提案されているか。 		1	10

企画提案書評価項目表

企画提案書目次	記載依頼事項	評価基準	重要項目	加重点	配点
4 性能・信頼性・拡張性					
① 性能・信頼性・拡張性	<ul style="list-style-type: none"> 性能面に関する考え方を記述すること。 本市が想定している次の処理性能について、貴社で想定している目標値及び具体的な実現方法、検証方法、制限事項等について記述すること。 <ol style="list-style-type: none"> オンライン性能 印刷処理性能 バッチ処理性能 ハードウェア障害時における基幹系業務システムの可用性（縮退運用等）、制限事項等の信頼性に関する考え方及び方針を記述すること。 ハードウェア等の増強に伴う基幹系業務システムの具体的な拡張方法、制限事項等の拡張性に関する考え方及び方針を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の「4章4.4性能要件」を理解し、具体的な実現方法及び検証方法が提案されているか。 本調達仕様書の「4章4.5信頼性要件」を理解し、構成、冗長化方式等の信頼性に関する考え方及び方針が提案されているか。 本調達仕様書の「4章4.6拡張性要件」を理解し、過剰とならない構成等の拡張性に関する考え方及び方針が提案されているか。 		3	30
5 セキュリティ要件					
① セキュリティ要件	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ要件に関する貴社の基本的な考え方、方針を記述すること。 本調達仕様書「4章4.7セキュリティ要件」に挙げたOSやミドルソフトウェア等のセキュリティ対策及び端末セキュリティ対策、監査証跡の取得の要件についての実現方法を具体的に記述すること。 それ以外で本システム構築に際し、実装するのが望ましいセキュリティ機能については積極的な提案を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の「4章4.7セキュリティ要件」を理解し、具体的に実現性のある提案されているか。 OSやミドルソフトウェア等のセキュリティ対策については、コスト面も考慮された提案になっているか。 	○	4	40
システム基盤に対する技術点				小計	160
5 その他構築関連作業					
1 その他構築関連作業					
① 研修	<ul style="list-style-type: none"> 本業務委託における研修に関して、貴社の考え方、具体的な実施内容、貴社と本市の役割分担について記述すること。また、想定する研修スケジュールも記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書に記述している「5章5.1研修」の主旨を踏まえ、研修における貴社の考え方及び実施内容、役割分担、スケジュールが適切で具体的な提案がされているか。 		3	30
② マニュアル作成	<ul style="list-style-type: none"> 本業務委託におけるマニュアル作成に関して、マニュアルの種類ごとに貴社の考え方、具体的な実施内容、貴社と本市の役割分担について記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書に記述している「5章5.2マニュアル」の主旨を踏まえ、各種マニュアル作成における貴社の考え方及び実施内容、役割分担が適切で具体的に記述されているか。 		2	20
③ 情報システムの事業継続性	<ul style="list-style-type: none"> 本業務委託における情報システムの事業継続性に関して、貴社の取り組み方針、過去の実施事例もしくは想定事例を活用して具体的に記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書に記載している「5章5.1.3情報システムの事業継続性」の主旨を踏まえ、事業継続性における貴社の取り組み方針及び過去の実施事例もしくは想定事例が今回構築する情報システムでの有効かつ具体的に記述されているか。 		1	10
開発に対する技術点				小計	60
6 開発					
1 開発プロジェクト					
① 開発方針	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト管理運営に関する貴社の考え方について記述すること。 採用する開発方法論や開発ツールについて明示し、採用理由を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の「6章 開発要件」を理解し、具体的なプロジェクト管理運営に関する考え方や採用する開発方法論が妥当性のある提案となっているか。 	○	4	40
② 開発工程	<ul style="list-style-type: none"> システム開発工程を定義し、各工程について考え方、工程別の作業項目、納品物を記述すること。また、運用設計工程、移行設計工程についても明確にすること。なお、本市の想定する工程と異なる場合には、対比して説明すること。 開発に際しての貴社と本市及び基幹系業務システム開発業者等の役割分担を工程別に記述すること。 貴社が想定している開発工程ごとの作業場所に関して記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> システム開発、運用設計、移行設計工程に漏れがなく、本調達仕様書の「6章 開発要件」を踏まえ、妥当性のある工程定義の提案となっているか。 開発工程が無理のない提案となっているか。 役割分担及び開発工程ごとの作業場所が本市が想定より不十分又は過大でないか。 		1	10

企画提案書評価項目表

企画提案書目次		記載依頼事項	評価基準	重要項目	加重点	配点
③	進捗管理及び品質管理	<ul style="list-style-type: none"> 各工程における進捗管理の考え方、定量的な管理方法等を記述すること。 各工程における終了基準の考え方、具体的な終了基準を記述すること。 品質管理に関して、貴社の考え方、実施方法、定量的な評価方法、具体的な目標等を記述すること。 作業遅延やテスト段階での大幅な手戻りなど、工程管理上の遅延が発生した場合の考え方について具体的に記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の「6章 開発要件」を踏まえ、進捗管理及び品質管理の考え方、方法、具体的な目標、工程ごとに終了基準の考え方等が明確に整理されており、大幅な遅延を未然に防ぐための対策に実現性等があるか。 	○	5	50
開発に対する技術点					小計	100
7 運用保守						
1 運用保守						
①	運用保守業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の運用保守要件を理解し、貴社が考える運用保守の業務内容を記述すること。 本調達仕様書の内容と異なる場合は、変更点を明確にすると共に、その考え方等の提案の理由を明確に記述すること。 運用保守に係るサービスレベルの基本的考え方を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の「7章7.2 運用保守内容」を理解し、貴社と本市等の作業内容が妥当性のある内容か。 本調達仕様書の「7章7.3 SLAの締結」に記載している内容を理解し、サービスの内容と範囲、品質に対する要求（達成）水準についての基本的考え方が明確にされているか。 	○	4	40
②	運用保守業務におけるコスト削減手法	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の運用保守要件を理解し、運用保守全般について本調達仕様書のサービス水準を保ちながらコストを削減する手法を提案すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の「7章 運用保守要件」を理解し、実現性のあるコスト削減手法が提案されているか。 	○	4	40
③	運用保守業務の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の運用保守要件を理解し、運用保守に際しての貴社と本市等の役割分担を記述すること。 本調達仕様書の内容と異なる場合は、変更点を明確にすると共に、その考え方等の提案の理由を明確に記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の「7章 運用保守要件」を理解し、貴社と本市等の役割分担が妥当性のある内容か。 	○	5	50
④	機種更新の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 本システムにおける次回生活保護システムの機種更新の基本的な考え方について、コスト面及び安全性の面から記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 本調達仕様書の「7章7.2.6 共通基盤における機種更新」を理解し、具体的に実現性のある提案されているか。 コスト面及び安全性の面に考慮された提案となっているか。 		3	30
運用保守に対する技術点					小計	160
8 機能評価						
1 機能評価						
①	機能評価	<ul style="list-style-type: none"> 本市指定様式「機能評価一覧（様式第13号）」にしたがい、該当するシステムとしての対応方針に「●」を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価基準の機能評価点の採点方式に従い評価する。 		-	100
					合計	1260